

ふれあい

編集発行
社会福祉法人 京極町社会福祉協議会
〒044-0121
北海道虻田郡京極町字三崎68番地
TEL(0136)42-3681 FAX(0136)41-2031
Eメールアドレス
kyogoku-fukushi@blue.ocn.ne.jp
印刷/櫛須田製版

この広報は赤い羽根共同募金の助成金で印刷されています。

ほかほかまつりで認知症サポーター養成講座開催。 町民ドラマ好評でした!!

(平成27年ほかほかまつりテーマ
『人をやさしくする病気～認知症をもっと知ろう』)



10/17(土)のほかほかまつりで『認知症サポーター養成講座』を行い、10代から90代までの72名もの皆様が受講されました。

町民の皆様と作成した認知症をテーマとしたドラマも当日上映し、受講された方からは『身近で分かりやすかった』とのご感想を頂きました。ドラマ作成にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。(京極町の認知症サポーター数:延べ330名H28.1/1現在)



第15回ほかほかまつり実行委員構成団体/京極町、京極町民生委員児童委員、京極町健康推進員、京極町社協理事・監事・評議員・福祉委員、ひまわりクリニックきょうこく、羊蹄グリーン病院、慶和園
協力団体/雅会、京極町飲食店組合、京極林友会、京極中学校、エコクラフトの会、ワークショップようてい、京極町母子寡婦会



ご挨拶

京極町社会福祉協議会 会長 柳原 保



新年明けましておめでとうございます。

昨年は皆様にとってどんな年だったでしょうか。一人一人その思いは違うと思いますが、今年が皆様にとって素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます。

京極町社会福祉協議会は町民皆様のご理解とご支援により道内においても活発な活動をしている社協の一つとなりました。後志管内においては先導的な役割を果たしております。このことは皆様のおかげと厚く感謝とお礼を申し上げる次第です。

いま、日本は人口減少、高齢化、経済的格差、利己主義などが拡大しその結果、人生への目的観、連帯観、共助の心などが希薄になっているように思えてなりません。このような時だからこそ豊かな人生のために福祉活動は一層重視されます。

昨年4月に介護保険法の改正があり地域住民が主体的に介護予防に参加していくことになりました。町内会の福祉委員さんをはじめ皆様の係わりが一層期待されます。福祉センターには資格を持った職員が揃っていますので積極的に働きかけ誰もが安心して生活できる京極町にしていく決意です。

「苟(まこと)に日に新たに、日に新たに、又た日に新たなり」という言葉があります。社会の変化や町民の皆様のご要望を受け日々新たな気持ちで努力してまいります。

今年も皆様のご理解とご支援よろしくお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

みなさんのご意見をお寄せください

これからの社協運営に反映するために、ご意見・ご提案・苦情などを受け付けています。寄せられたご意見などは内容に応じて「苦情解決委員会」「法人運営会議」で検討していきます。なお、匿名により「広報ふれあい」で内容を公表する場合があります。

ご意見は、福祉センター入口に設置しているご意見箱に投書していただくか、電話やファックス、メールでも受け付けています。



電話 0136-42-3681

Fax 0136-41-2031

メール kyogoku-fukushi@blue.ocn.ne.jp



～除雪ヘルパーのみなさまに感謝～

今年度も降雪サービスが稼働中です。豪雪地帯である京極町において安心して暮らしていくために欠かせない「除雪」。福祉センターでは12月1日から3月31日までの間、町の委託を受けて町内に家族がいない独居もしくは夫婦世帯の高齢者や障がいを持つ方に対して除雪サービスを実施しています。除雪サービスの目的は単にサービスの実施のみならず、除雪の受け手と支え手同士、困ったときはお互いさまの気持ちを通して関係づくりを促進することです。



皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



除雪サービスの大まかな内容(原則)

- ・ 朝6時から9時までの間で1日1回、約15cm程度降雪した場合の玄関口、避難口の確保(スノーダンプ2個分程度の幅)
- ・ 月2回を原則に、採光が確保できる程度の窓下除雪
- ・ 月1回程度の平屋屋根の雪下ろし

※除雪サービスは、残念ながら高齢者や障がいのある方の冬季の除雪体制を十分に満たすことができないサービスです。言い換えると町の方の協力なしでは冬季の生活を十分に支えることができないものだと言えます。



重ね重ね皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成
27年度

市民後見人フォローアップ研修会を開催しました!

12月2日、京極町公民館にて「市民後見人フォローアップ研修」を開催しました。今回は羊蹄山麓と岩宇地区合同での開催となり、市民後見人さん、行政や社協担当者など総勢37名が参加しています。

今回は俱知安町ひまわり基金法律事務所の渡邊恵介弁護士から成年後見制度の概要について復習を兼ねて説明を頂きました。受講者からは忘れていた内容もあって復習になった、また気を引き締めて勉強していきたいとの感想を頂きました。

また、サポートセンターからは成年後見業務をとおして感じた意思決定支援や本人と対話する事の大切さについて報告しています。

市民後見人さんとの協働体制構築はまだですが、一緒に学び合いながら地域の権利擁護の活動に取り組んでいけたらと思います。



居宅介護支援事業所

冬になり、路面がツルツルな日もありますが転んだりしていませんか？また、インフルエンザ・ノロウイルス等季節的にかかりやすい感染症も流行る時期なのでうがい・手洗いを十分に感染予防してくださいね。

旦那さんを亡くしてから持家で一人で生活をされ、札幌に長女、本州に長男が在住し、長女は月1回程度来訪され、身の回りの事や書類手続き等を行っています。体調は膝の痛みがあり、長距離歩行は難しく、訪問介護による食材の下ごしらえをしてもらうと自分で炒める・ゆでる等の調理ができます。年相応の物忘れがあり要介護1の判定を受けています。

今回は福祉サービスを利用されている
Aさん(80歳代)
についてご紹介します。

デイサービス：週2回(火・金)

訪問介護：生活援助 週1回(水) [室内清掃、ゴミ捨て・調理・買い物代行等]

身体介護 月1回(病院受診)

Aさんはサービスを利用しながら在宅生活を続けています。今後も住み慣れた京極町で知人との交流を図りながら生活していきたいと考えており、下肢筋力も低下してきたため最近デイサービスでの個別機能訓練(リハビリ)を開始し、足の運びがよくなったと意欲的に取り組んでいらっしゃいます。

訪問介護事業所



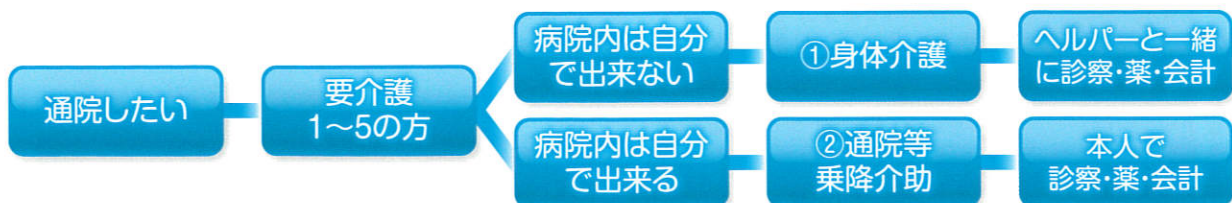
寒さ厳しい中、皆様いかがお過ごしですか。
今回は訪問介護を利用した受診サービスについてお伝えします。

受診の方法は利用者の身体状態によって2種類あります。

要介護1～5の方で、一人暮らしや家族の付き添いが難しい等の理由で受診のサービスがあります。

- ①身体介護サービスはヘルパーが病院内を付き添い、受付・診察・会計・薬などの手続きを一緒に行います。
- ②通院等乗降介助サービスは病院の受付までの送迎を行います。

※ケアマネージャーが、ご本人・ご家族と相談の上、訪問介護が必要と認められた方のサービスです。



住み慣れた環境と時間をいつまでも共有できるように在宅生活をサポートします

デイサービスだより

クリスマス会

12月15、16、17日の3日間でクリスマス会を行いました。

デイサービス最後のイベントも、みなさんのおかげで素敵なクリスマス会になりました。

ヘルパーSUNの会のドジョウすくいでは、利用者さんも踊りました。

役員サント
から、
クリスマス
カードの
プレゼント



前沢先生による
讚美歌と
ハーモニカ演奏

介護支援
ボランティア
の小原さん
による、
チェロ演奏



ヘルパーSUNの
会による、
ドジョウすくい

ボランティア さん



エコキャップ選別の
様子
フチママクラブ

デイサービスでは、畑作業、裁縫や編み物などの創作活動や、将棋や麻雀やカラオケなどの趣味活動を行っています。

一緒に活動を行ってくれる方、演芸など披露していただける方、ボランティアをしませんか？



麻雀ボランティア
介護支援元気ポイント事業



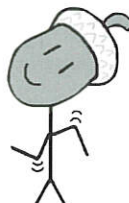
大正琴演奏の様子
朋の会

京極町介護予防センター

各事業の近況報告

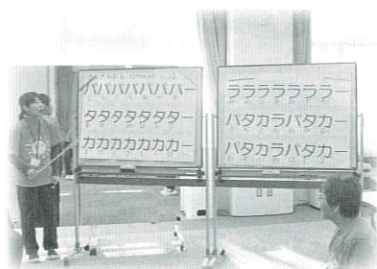
1. シャキッと会

パークゴルフシーズン終了に伴い、「冬場はシャキッと会の運動を頑張る」という方が戻ってきています。シャキッと会の運動(1時間15分程度)をやり切れる高齢者は、体力に自信を持っていただくと良いと思います。



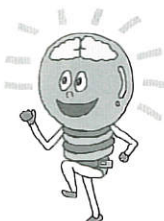
2. ミニデイサービスにこっと

11月は口腔機能強化月間でした。いつまでも美味しく口から食べることを目標に口の運動、発音練習などを主に行いました。口は生きるために必要な空気や食べ物を取り入れる一番初めの場所です。これからもお口の健康に気を配りながら過ごしていきたいですね。



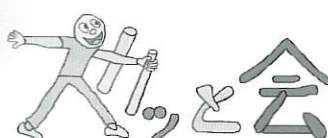
3. 脳活くらぶ

11月末で6カ月間のプログラムを終了しました。歩数計を毎日つけたことで歩く習慣が身に付き、認知機能検査もほとんどの参加者が向上しました。「とにかく楽しかった」という感想を多くいただき、心身の変化も実感してくださった様子でした。



4. 冬のスカッと会

運動機能向上が必要と認められた65歳以上の方を対象に1月12日～3月29日までの3か月間、毎週火曜日に福祉センターで実施します。片足立ち何秒以上などの目標設定も行い、自宅でも運動に取り組んでもらいます。



介護予防・日常生活支援総合事業 開始まであと1か月!!

京極町では、後志管内のトップを切って総合事業が開始されます(平成28年3月開始予定)総合事業は、65歳以上のすべての人を対象とした、市町村が行う介護予防事業です。介護保険の認定を受けていなくても、一人ひとりの生活に合わせたサービスを利用できるようになります。介護予防センターでは、町民の皆様が、いつまでも元気で自立した生活を営めるよう、これまでの事業をさらに充実させて展開する予定です。詳しくは介護予防センターまたは地域包括支援センターにご相談ください。

京極町地域包括支援センター

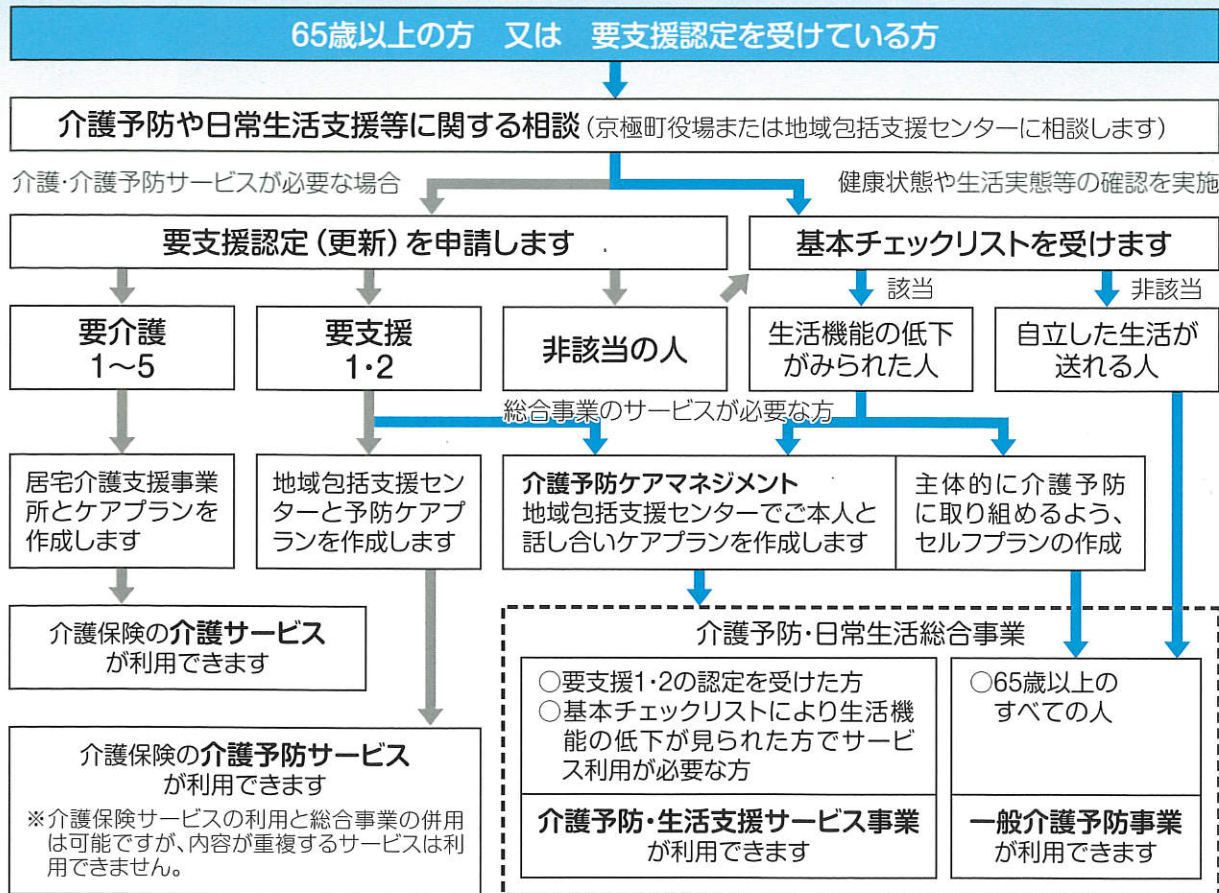
介護予防サービスの仕組みが変わります

～「介護予防・日常生活支援総合事業」が平成28年3月からスタートします～

何が変わるの？

- 介護保険法の改正にともない、今まで全国一律で同じ仕組みで提供されていた介護予防サービスのうち「通所介護（デイサービス）」と「訪問介護（ホームヘルプサービス）」を京極町の事業として提供することになりました。
- 新しい制度に代わっても、引き続き必要なサービスを利用することができます。
- 主体的に介護予防に取り組めるように「セルフプラン」（生活の目標や目標達成するために取り組むこと等の計画）を立てるお手伝いをします。

どのように利用できるの？



総合事業のサービス内容

- | | | | |
|----------|---|-------------|-------------------|
| 通所型サービス | ➔ | ○にこっと通所サービス | ○従来からあるデイサービス |
| 訪問型サービス | ➔ | ○にこっと訪問サービス | ○従来からあるホームヘルプサービス |
| 一般介護予防事業 | ➔ | ○運動教室シャキッと会 | ○ふまねっとサロン |
| | | ○ニュースポーツサロン | ○寺子屋サロン |

ご相談やお問い合わせは…京極町地域包括支援センター 55-8615 まで



左:森 美恵子氏 右:横路 いし氏



左記の写真は毎週木曜日に開催されている運動サロンでの一コマです。

お二人とも毎週木曜日のこの時間を楽しみにされています。

「毎週こうしてみんなの顔を見るのが本当に楽しみ。参加できるから今こうして元気でいられる」とのこと。

運動サロンは下記のスケジュールで開催されています。みなさまぜひ買い物、病院等のついでにお立ち寄りください。

運動サロンについて

対 象: 誰でも参加できます

日 時: 下記の通り

毎週第1・第3木曜日 ニュースポーツサロン

毎週第2・第4木曜日 ふまねっとサロン

会 場: 商工会館

(会場の都合が見つからない場合は福祉センター)

参加費: 無料

持ち物: 動きやすい恰好、飲料水

エコキャップ メーカー

7月 送付 33,110個 (77kg) 累計 611,255個
 10月 送付 25,370個 (59kg) 累計 636,625個
 12月 送付 17,050個 (40kg) 累計 653,675個



キャップ860個で20円に換金されます。ポリオワクチンは1人分20円となっています。ポリオワクチンで換算すると760人分になりました。

提供者のみなさまへ

ペットボトルの飲み物のプラスチックキャップのみが対象となっています。(金属や洗剤、しょうゆ、マヨネーズ等のキャップは対象となりません。)

キャップの汚れ落とし、シールはがしをして持ってきてくれる方が増えています。ご協力ありがとうございます。

エコキャップ推進協会 ワクチンを含む医療支援の 寄付実施

エコキャップ推進協会は、平成27年8月24日に、ブータン王国政府が1998年にWHO本部の承認を受け正式に発定させたブータン・ヘルス信託基金に500万円の寄付を実施しました。

寄付・寄贈に感謝いたします。◆期間/9月~11月

寄贈

■有限会社京極石油 様 ■佐々木歌子 様

寄付

- 久保ミドリ様より夫の故久保哲夫様の生前のお礼として
- 前沢政次様より福祉事業先進地視察旅費の一部として
- エコクラフトの会(代表古屋清子様)様よりほかほかまつり出店売り上げの一部を
- 京極町母子寡婦会様よりほかほかまつり出店売り上げの一部を
- 今野義美様より母の故今野きみ子様の生前のお礼として
- 小谷睦子様より京極町の福祉事業のために
- 十五日会(会長山中弘志様)様よりチャリティーライブ収益金を京極町の福祉のために